

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 41 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2025 年 7 月 23 日 (木) 14 時～16 時

(2) 会場

オンライン開催 (Zoom)

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	小笠原勝司
岡山 NPO センター	加藤彰子 (代理：高平亮)
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

② オブザーバー

とっとり県民活動活性化センター	寺坂純子
岡山 NPO センター	高平亮
ふるさと島根定住財団	原早紀子
ひろしま NPO センター	松村渉

(4) 議題

① 休眠預金活用の今後について

② 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアムの座組について

③ 今後の休眠預金申請スケジュールについて

④ その他

(5) 記録

① 休眠預金活用の今後について

■課題認識

- 来年度、中国地方で休眠預金活用事業がない状況になる。
- 休眠で同じテーマが不採択となったため、再構築の機会と捉える。
- RBA(権利基盤型アプローチ)で進めるかは検討の余地あり。
- 審査委員から「RBA の座組(2025 年度前期申請事業)が休眠に合わない」と指摘あり。

■対応方針

- 1 月頃に次年度研修や会議を開催し、考え方や状況を共有したうえで議論開始。
- 11 月の研修 2 日目の活用方法も検討。
- 空白期間が組織にとって足かせにならないよう共通認識を持つ。
- 毎月の定例会か、懇親会など柔軟な場で議論継続。

② 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアムの座組について

- 継続を希望(全体)。
- 必ずしも 5 県一致でなく、テーマごとに分かれてもよい。
- 山陰側(公益財団)と山陽側(NPO 法人)の違いを踏まえ、柔軟な組み合わせで対応も検討。
- 単独申請も選択肢に含める。
- 広島単独事業採択時は評価関連経費を活用し、5 県座組を評価の場で維持。

③ 今後の休眠預金申請スケジュールについて

■2026 年度上期

- 6 月申請 → 9 月末結果 → 10 月事業開始(最速)
- 実施期間:2026 年 10 月～2030 年 3 月末

■2026 年度下期

- 11 月申請 → 翌年 3 月結果 → 4 月事業開始
- 実施期間:2027 年 4 月～2030 年 3 月末

■緊急枠

- 随時(年 2～3 回程度審査)

2026 年 1 月運営委員会において申請を検討する。

④ その他

■11 月研修費用について

- 旅費は OK (PO、管理的経費ともに可)。
- 参加費は NG。

■その他の意見・情報






- 人事異動との兼ね合いで 1 年間空くことへの懸念。
- 評価の文脈で関係者を集めたい (単独申請時)。
- トヨタ財団の人口減少特定課題など、他の助成機会も検討。
- 「なぜ地方から人がいなくなっているのか？」という越境テーマも議論対象に。
- 各県が単体で事業を進める場合、相互にアドバイザーとして関与可能。
- 広島単独事業：評価関連経費を活用し、改善点を外部視点で検証。
- 「3 年間何をしたのか」と問われないよう、成果の可視化を重視。

以上で議事のすべてを終了し、16:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2025 年 10 月 31 日

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	小笠原勝司	
運営委員	加藤彰子	
運営委員	伊藤彰	

署名: 松原裕樹

松原裕樹 (2026年1月7日 10:07:31 GMT+9)

電子メール: matsubara@npoc.or.jp

署名: 毛利葉

毛利葉 (2026年1月7日 16:27:37 GMT+9)

電子メール: ymouri.tottori@gmail.com

署名: 小笠原勝司

小笠原勝司 (2026年1月7日 10:55:59 GMT+9)

電子メール: oga@teiju.or.jp

署名: 加藤彰子

加藤彰子 (2026年1月7日 10:02:40 GMT+9)

電子メール: npokayama05@gmail.com

署名: 伊藤彰

伊藤彰 (2026年1月7日 10:57:05 GMT+9)

電子メール: yamaguchiito@yahoo.co.jp